

時代を讀む

渡辺 利夫



「韜晦」という言葉がある。韜が「包み隠す」、晦が「くらます」の意であり、つまり「才能や本心を隠して人の目をくらます」といった意味である。

一九八九年六月に起こった現代史の惨劇「北京天安門事件」で、中国はその非人道的行為に対して西側諸国から経済制裁を含む集中非難を受け、国際的孤立を余儀なくされた。この状況を見据えて、当時の最高指導者鄧小平は「韜光養晦」をもって対応するよう指導者を諭した。「光を韜み養い晦す」、外国に悟られず着

実に力を蓄えて然るべき時に備えよ、と言ったのである。日清戦争後の三國干渉の屈辱に

は日米同盟、米韓同盟、台湾関係などによって堅固に構築されてきたかにみえたが、

船の確固たる進出路となつてしまった。二〇〇八年十一月には四隻、〇九年六月には五隻、昨年四月には十隻の中国艦船が宮古海峡を経て太平洋に進出した。この十隻の艦船は海峡を通過後、沖ノ鳥島周辺で訓練活動を繰り返し、これを監視する日本の海上自衛

隊艦船に艦載ヘリコプターを数回にわたって異常接近させたほどであった。そして、今年に入つて六月八、九の両日、ミサイル駆逐艦など計十一隻が宮古海峡を通過して太平洋へ進出した。東日本大震災で、日本が呻吟している最中での軍事的威嚇

の、日本の指導者の断固たる意志はどこにも見られなかった。西沙、南沙諸島を着々と中国に押さえられ、南シナ海の制海権を握られて外洋への進出路を失いつつある東南アジア諸国との連携強化は当然のことであるが、その動きは何とも鈍い。もう一つの重要なテーマが日米同盟における集団的自衛権の行使容認だが、これに言及する指導者が野党を含めて今なお居ないのはどうしたことが。

中国「韜光養晦」の終えん

耐えて唱えられた「臥薪嘗胆」にも比すべき物言いである。

中国はこれらに抗しうる実力を自らのものとしたと確信したのであろう。

日米同盟の対象地域である尖閣諸島で強行した漁船の衝突は、そのことを象徴的に示す事件であった。沖縄本島と宮古島との間が宮古海峡である。この海峡はすでに中国艦

隊艦船に艦載ヘリコプターを数回にわたって異常接近させたほどであった。そして、今年に入つて六月八、九の両日、ミサイル駆逐艦など計十一隻が宮古海峡を通過して太平洋へ進出した。東日本大震災で、日本が呻吟している最中での軍事的威嚇

の、日本の指導者の断固たる意志はどこにも見られなかった。西沙、南沙諸島を着々と中国に押さえられ、南シナ海の制海権を握られて外洋への進出路を失いつつある東南アジア諸国との連携強化は当然のことであるが、その動きは何とも鈍い。もう一つの重要なテーマが日米同盟における集団的自衛権の行使容認だが、これに言及する指導者が野党を含めて今なお居ないのはどうしたことが。

わたつて年率一桁の軍事費増加率で蓄積し続けた強大な軍事力を擁し、「韜光養晦」戦略を放棄して周辺海域への膨張を開始したとみていい。東アジアにおける米国の抑止力

は日米同盟、米韓同盟、台湾関係などによって堅固に構築されてきたかにみえたが、

船の確固たる進出路となつてしまった。二〇〇八年十一月には四隻、〇九年六月には五隻、昨年四月には十隻の中国艦船が宮古海峡を経て太平洋に進出した。この十隻の艦船は海峡を通過後、沖ノ鳥島周辺で訓練活動を繰り返し、これを監視する日本の海上自衛

隊艦船に艦載ヘリコプターを数回にわたって異常接近させたほどであった。そして、今年に入つて六月八、九の両日、ミサイル駆逐艦など計十一隻が宮古海峡を通過して太平洋へ進出した。東日本大震災で、日本が呻吟している最中での軍事的威嚇

の、日本の指導者の断固たる意志はどこにも見られなかった。西沙、南沙諸島を着々と中国に押さえられ、南シナ海の制海権を握られて外洋への進出路を失いつつある東南アジア諸国との連携強化は当然のことであるが、その動きは何とも鈍い。もう一つの重要なテーマが日米同盟における集団的自衛権の行使容認だが、これに言及する指導者が野党を含めて今なお居ないのはどうしたことが。

(拓殖大学学長)